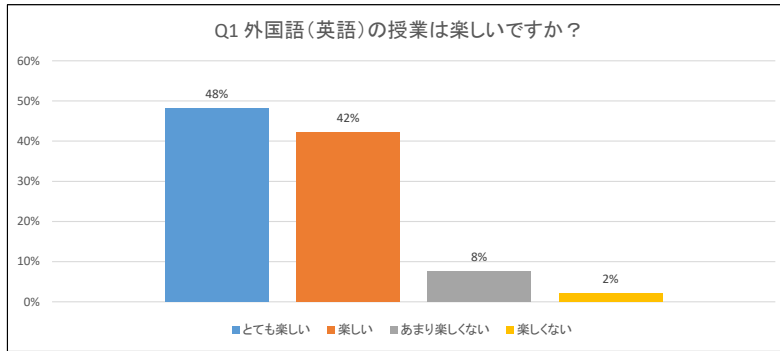
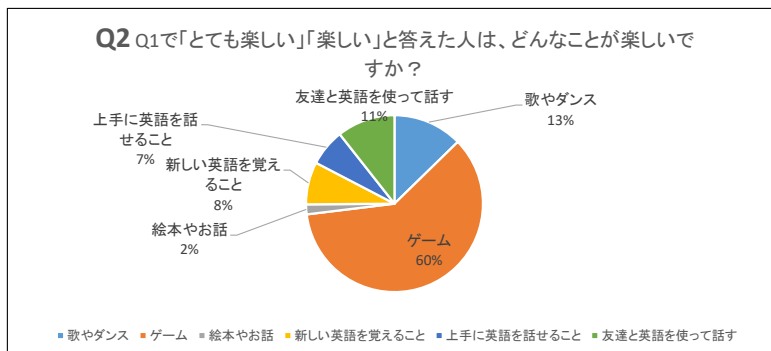


## 令和7年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(松橋小)



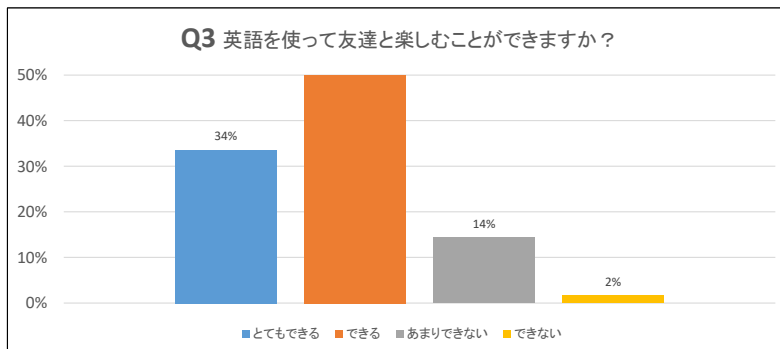
### 【Q1について】

○90%近くの児童が、外国語(英語)の授業に対して「とても楽しい」「楽しい」と回答している。  
○肯定的な意見が多い一方で、10%の児童が「楽しくない」と感じており、さらなる授業の工夫が必要である。



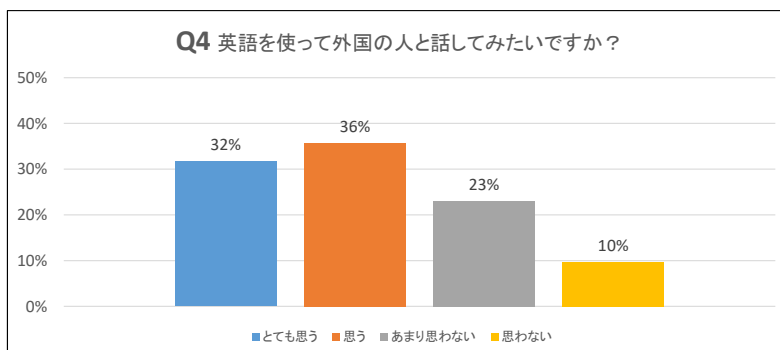
### 【Q2について】

○70%以上の児童が「歌やダンス」「ゲーム」などの活動を通じて外国語(英語)に親しんでいるといえる。  
○一方で「上手に英語を話せること」「友達と英語を使って話す」など、「話すこと」に1番の楽しさを感じている児童が20%未満であり、他者と「話すこと」がより楽しく感じる工夫が必要である。



### 【Q3について】

○80%以上の児童が「英語を使って友達と楽しむことができます」と回答しており、英語への慣れ親しみが進んでいると考えられる。  
○一方で、15%程度の児童が、友達との英語での対話が楽しめていない。その要因を考え、より抵抗なく友達と対話できる手立てを考えていく必要がある。



### 【Q4について】

○「英語を使って外国の人と話してみたい」と回答した児童は68%であり、児童の実践的な意欲の高まりが見られる。  
○一方で、30%の児童が外国の人と話すことに対して消極的な回答をしている。自信を持っていなかったり経験がなかったりすることで、このように回答していると考えられる。学校では、ALTとも学習する機会があるので、話す場をしっかりと設定できるようにしていく。

### 【保護者・学校関係者からの意見・要望等】

#### 保護者

・低学年のうちから英語に触れることで、英語で話すことを身近に感じているのではないかと思います。抵抗なく自然と英語を話そうとしている様子がうかがえる。ALTとの授業も楽しいようだ。

#### 学校関係者

・ゲームを含め、活動の目的や達成状況を確認しながら、どんな力をつけているのか意識をさせ、自信を持たせたい。

### 【考察・今後の展望等】

○多くの児童が、楽しんで外国語(英語)の授業に取り組むことができている。さらに、「楽しくない」「対話が苦手」という児童も抵抗なく取り組めるスモールステップを踏んだ学習活動に取り組んでいく。

○英語専科と担任及びALTが、児童が自然と話したくなるような活動やALTと対話する活動を計画に取り込んだ授業づくりを目指す。